



亀山ブランド
Kameyama Brand

『亀山ブランド』初認定!

亀山市は、鈴鹿山脈や鈴鹿川など、恵まれた緑と水によって貴重な歴史文化が築かれてきました。市では、この豊かな自然、伝統と風土、歴史文化を最大限に活かして生み出された産品や、新たに発掘・創出された産品を認定する「ブランド認定事業」に本年度から取り組んでおり、今回、10事業者17品目を『亀山ブランド』として認定しました。今後これらの認定品を通して「選ばれるまち亀山」となるよう、皆さんと一緒に亀山にしかない魅力を全国へ発信していきます。

みそ焼きうどん



亀山のご当地グルメ! トラック運転手から広まった名物料理

三重県・亀山が誇るB級グルメ「みそ焼きうどん」。国道を走るトラックの運転手さんたちのお気に入りの食事が、地元の味として親しまれるようになりました。オリジナルの味噌だれが食欲をそそる、みそ焼きうどんです。三重県産小麦粉を100%使用。

株式会社安全
〒505-0824 太岡寺町1180 ☎82-1234
※取扱店: 亀山ハイウェイオアシス店、道の駅 関宿



桶



明治15年創業 130余年に渡り作り続けてきた匠の技術

東海道五十三次の宿場町として栄えた関宿で明治15年に創業し、4代目となる。桶に向いている榎、高野槇、杉など樹齢100年を超える年輪の詰まった価値の高い木材を厳選して使用しています。関宿の街道に面した作業場で、匠の技を見学できるのも楽しみのひとつです。

桶重 服部 健
〒505-0844 関町中町474-1 ☎96-2808

カメヤマローソク



国内シェアNo.1 伝統と技術力と信頼のカメヤマ品質

創業よりローソクの品質基準とする三つの精神(流れず・曲がらず・くすぶらず)をモットーに最高品質を目指しています。良好な燃焼を保つ芯糸にこだわり、自社で芯糸の製造を行い、ローソクのサイズ、原料に合致した芯糸の選定・品質管理を行っています。

カメヤマ株式会社
〒505-0824 栄町1504-1 ☎82-3111
※直営店: オアシス店、亀山店(野村4-1-10)



花げしき



発売から30年 長く愛され続ける「花げしき」シリーズ

線香の選択肢がなかった時代に、リビングでも使える香りとして白檀にフローラルを配合して発売した「花げしき」シリーズは愛され続けて30年。煙も香りもほとんどない「備長炭香」や、短時間燃焼の安心ミニ寸シリーズも取り揃えております。

カメヤマ株式会社
〒505-0824 栄町1504-1 ☎82-3111
※直営店: オアシス店、亀山店(野村4-1-10)



花ふぜい



香りバリエーション豊かな 「花ふぜい」シリーズ

日々のご供養に気兼ねなくお使いいただける、お買い求めやすい価格のお線香シリーズ。いろいろな香りを気軽に試してみたいというお客様の声から、香りのバリエーションを豊富に取り揃えております。

カメヤマ株式会社
〒505-0824 栄町1504-1 ☎82-3111
※直営店: オアシス店、亀山店(野村4-1-10)



ジュラルミン削り出し名刺入れ



世界で初めて名刺入れにベアリングを採用

世界で初めて「直径3mmの極小ベアリング」を4個内蔵した名刺入れです。ベアリングの内蔵により、開閉が驚くほど滑らかな名刺入れに仕上がりました。本体の素材には、アルミ国内トップメーカーの「A2017S」と呼ばれるジュラルミン無垢材を使用し、高精度マシニングセンターで削り出しています。

有限会社ギルドデザイン
〒505-0824 能褒野町13-2 ☎85-2230



ジュラルミン削り出しスマートフォンケース



「スマートフォンを守る」をコンセプトにした アルミ削り出しケース

ケースの材質には航空、宇宙、レース部品に使用される「A2017」と呼ばれるジュラルミン無垢材の中でも、アルミ国内トップメーカーの「A2017S」を採用。ソリッドの四隅が出っ張っているのは落下の際、四隅からの衝撃を吸収するために「必要な肉厚」として設計されたものです。

有限会社ギルドデザイン
〒505-0824 能褒野町13-2 ☎85-2230



小林ファームの豚肉



農林水産大臣賞も受賞した “本物の味、いただく幸せ”

「心を込めて健康に育てれば、お肉はおいしくなる」を合言葉に、愛情を込めて丁寧に、ゆったりとんびり育てた自慢の豚は、きめ細かな肉質で臭みがなく、やさしい旨みと甘みのある味わい。どんな料理にも相性がよく、冷めてもやわらかくおいしい、飽きのこない豚肉を心からお楽しみください。

有限会社小林ファーム
〒505-0824 両尾町2037 ☎85-1888



ひのきの組立てミニ家具「ちょこん」シリーズ



暮らしに彩りを与えてくれる「加太ひのき」

丸太を余すことなく有効利用した家具です。子どもが「ちょこん」と小さなおしりを椅子に乘せるイメージで名付けられました。子どもから大人まで幅広い年齢層の方にもお使いいただけます。「ものを作ることの楽しさも感じてほしい」という願いを込めて、ドライブパー1本でできる組立式です。

三栄林産株式会社
亀山studio ムッティーハウスリビング
〒505-0824 加太中在家8032-1 ☎98-0678





にしかない 魅力をお届けします

🔍 亀山ブランド

問合先 産業振興課商工業・地域交通グループ (☎84-5049)

ひのきのカッティングボード



料理が楽しくなるような
デザイン性の高いカッティングボード

調理するときに活躍するだけでなく、木の持つ素材感によってお皿として魅せることができます。特に木材本来の形である「耳」の部分を残すことにより、他にない独自のデザインとなっています。

三栄林産株式会社
亀山studio ノッティーハウスリビング
住 加太中在家8032-1 ☎ 98-0678



森のこものシリーズ



杉のコースター

杉のコースター・杉のマウスパット・
ひのきの鍋敷き

近年、本物志向への高まりと、おうち時間を大切にしている傾向があり、自宅に木のぬくもりを求められる方が多くなってきました。無機質なパソコン周辺の癒しアイテムや、キッチンまわりのこだわりの小物をぜひお楽しみください。

三栄林産株式会社
亀山studio ノッティーハウスリビング
住 加太中在家8032-1 ☎ 98-0678



デスク&キャビネット 木のこ ~宝物になる机~



「一生使える机」をコンセプトに

子ども時代の一時期を過ごすためだけでなく、大人になっても永く使える机であることをコンセプトに、整理収納アドバイザーと一緒に企画しました。「自らお片付けができる机」として収納は細部までこだわり、木材も厳選された上質な三重県産材ひのきを使用しています。

三栄林産株式会社
亀山studio ノッティーハウスリビング
住 加太中在家8032-1 ☎ 98-0678



杉ボックスシリーズ



3種類の口の字型ボックス
サイズ 180mm・360mm・720mm

3種類のサイズがすべて倍になっていることで、たくさん組み合わせることで自由自在の家具の形を作ることができます。本棚に、小物置きに、ディスプレイしながら洋服をしまったりなど使い方は無限大です。

三栄林産株式会社
亀山studio ノッティーハウスリビング
住 加太中在家8032-1 ☎ 98-0678



亀山べにほまれ紅茶



世界で認められた亀山紅茶が復活
【第6回国産紅茶グランプリ金賞受賞】

亀山産の「べにほまれ」紅茶は、「日本産紅茶としてはじめて海外の紅茶に追いついた」と評される、まぼろしの紅茶でした。歴史に埋もれてしまった亀山産のべにほまれ紅茶を復活させようとする取り組みが、平成23年度から行われ、50年以上前の茶園から挿し木をして栽培加工に成功しました。

伊達丸亀製茶 伊達 亀嘉
住 辺法寺町1011 ☎ 85-0524

WOOD LOVER'S ヴィンテージ加工ウッドパネル



三重県産の杉で作ったヴィンテージ材

三重県産の杉の羽目板を亀山にある作業場で、一枚一枚手作業でヴィンテージ風に加工したウッドパネルを作っています。無垢のヴィンテージ材は、住まいや店舗などの内装材として壁一面に貼るだけで、今までとは違うデザインを可能にし、お洒落な空間を演出。スタイルやカラーも豊富なので、きっと好みの製品が見つかるはずです。

なかの材木株式会社
住 栄町1488-185 ☎ 83-1596



銘菓 関の戸シリーズ



創業1642年
深川屋の代表銘菓「関の戸」

江戸寛永より続く深川屋の関の戸は、赤小豆のこし餡を求肥で包み、阿波の和三盆をまぶしたお餅菓子です。亀山茶を石臼で挽きまぶした「お茶の香関の戸」は2017年全国菓子大博覧会にて厚生労働大臣賞を受賞した銘菓です。

有限会社深川屋
住 関町中町387 ☎ 96-0008
※取扱店: 関見世 吉右衛門(関町新所1765-5)



特上かめやま



お茶の栽培に適した風土で育った
上品で濃厚な味わいと香り

一番茶の中でも5月初旬の新芽を使用し、茶葉を蒸す時間を少し長くすることにより、深い旨味と清涼感を特徴とするお茶です。二煎目・三煎目と違った味を楽しんでいただけます。今まで培ってきた経験を活かし、衛生管理も徹底的に行い、安心・安全な商品に仕上げました。

三重茶農業協同組合直売店茶気茶気
住 御幸町174-6 ☎ 82-0429



ロゴマークのデザインコンセプト

亀山市は、日本の東と西を結んだ大動脈「東海道」の宿場町として今なおその面影を残し、歴史ロマンを求めて多くの観光客が訪れます。そんな人と人、人とのをつないだ郷土を、亀山市の頭文字「K」を用いて、西にそびえる鈴鹿山脈・鈴鹿峠と、そこから流れる鈴鹿川の情景を、「日本武尊・白鳥伝説」ゆかりの地にちなんで、白鳥をモチーフに具現化しました。